

皆さんこんにちは。2024 年度 SSH 通信作成委員です。この SSH 通信では、本校の SSH プログラムの 1 年間の活動をお伝えしていきます。

第 4 号では、7 月 23 日（火）～25 日（木）に行われた「韓国（チョナン）海外研修」と、7 月 28 日（日）～8 月 2 日（金）に行われた「タイ（ムクダハン）海外研修」の 2 つを紹介します。

<韓国（チョナン）海外研修 7 月 23 日（火）～25 日（木）@韓国>

【研修の流れ】

1 日目は、広島駅に集合し、広島空港から仁川空港に向かいました。夕食ではホテルの近くにあるお店でサムギョブサルを食べ、夕食後は翌日の発表練習や打ち合わせを行い、早めに就寝しました。

2 日目は、チョナンチュンアン高等学校を訪問しました。開講式では、天安と広島の紹介、各校の紹介があり、それぞれの国の文化や学校の特徴を交流することができました。その後、日韓の生徒がグループとなり、英語を用いながら、化学と生物の実験を共同で行う授業を経験しました。課題研究の発表会では、各グループの研究発表を聞き、ディスカッションを行いました。

3 日日も、チョナンチュンアン高等学校を訪れ、閉講式を行い、全体での写真撮影やお土産をいただくという時間を過ごしました。帰りは、行きと同じ経路で無事に広島に帰ってきました。



【化学授業の感想】

- ・一度附属の授業でもやった内容だったが、結果が予想と違って、なぜかを考えることがあまりできていなかった。研究を進める上で、うまくいかないときになぜそうなるかを考えるようにしようと思った。
- ・計算の手順を英語で説明するのが特に難しかった。実験の前提条件がそもそも違ったようだが、現在自分たちのグループで取り組んでいる課題では、生じた物質がケイ酸ナトリウムやシリカゲルだという前提で進んでいるため、前提を疑うこともしなければならぬということも改めて実感した。



- ・自分たちだけで考えて実験を行う、という授業スタイルに驚いた。予想通りの結果が得られず、何が間違っていたのか、グループ内で話し合いながら進めることで、深く実験内容を考えることが出来た。とても楽しく、学びに繋がる授業だった。

【生物授業の感想】

- ・学校でやったことのない実験だったので、とても楽しんで実験できた。同じ班の人達が実験方法をとても優しく教えてくれて嬉しかった。
- ・グループ内にとっても生物が得意な生徒がおりとても心強かった。自分たちでスライドガラスを作り、顕微鏡で見て確かめる、という工程をすべてグループで行い、とても楽しかった。
- ・今までにやった事のない内容の実験だったが、役割分担をして効率よく正確に実験した結果、大成功したのが嬉しかった。韓国語にも英語にも触れることが出来て面白かった。



【課題研究発表の感想】

- ・韓国の学生の研究は、トピックの種類から、スライドの形まで日本と異なる部分が多く、驚かされた。また自分達の研究発表では、いかに分かりやすく伝えるか、を意識した準備を行い、実際に発表をすることで、プレゼン力が身についたように感じる。たくさんの事前準備をしてきたからこそ、研究発表に対する高評価を貰った時はとても嬉しかった。SSH の研究を通して、他国の学生との交流が行えたことに感動した。これからの自分達の研究に対するモチベーションを得ることが出来た。
- ・全く内容を知らない人に対して、どうすれば分かりやすく伝えられるかと同じグループの人と協力して作り上げた。その結果、とても興味を持って聞いて貰えて嬉しかったし、質問などから学ぶこともあった。他のグループの研究を聞いていて初めて知ることもあれば、考えさせられることもあり、とても充実した時間だった。



<タイ（ムクダハン）海外研修 7 月 28 日（日）～8 月 2 日（金）@タイ>

【研修の流れ】

1 日目は、広島駅に集合し、福岡空港を経由して、スワンナプーム国際空港に到着しました。初日はおいしい中華料理を食べ、本番への準備をし、早めに就寝しました。

2 日目は、ドンムアン空港を経由して、ナコンパノム空港に到着し、ムクダハン校の先生たちと合流しました。メコン川のほとりにあるレストランでタイ料理を食べることができました。いよいよ明日からムクダハン校での研修が始まります。

3 日目、まずは開講式でお互いの学校紹介を行いました。その後、特別ワークショップではウボンラーチャターニー大学の教授の講義として、午前は生物学、午後は化学をタイのパディと一緒に受講することができました。そのまま、午後はパディと研究の交流をしっかりとすることができました。

4 日目は、ムクダハン校の先生の授業から始まりました。1 時間目はタイ語と日本語に関する授業、2 時間目は化学で珪藻土に関する授業、3 時間目は数学で A4 用紙を使って人が入れるサイズの家を作ろうというプロジェクトに取り組みました。明日は、ムクダハン校での最終日になるので、パッキングをして就寝しました。



5 日目、まずは物理の授業で Kra-bak の木の種子の落下について、学びました。その後、研究の交流、閉講式を行い、帰路につきました。5 日目は、バンコクでタイ風海鮮料理をいただきました。

6 日目は、行きと同じ福岡空港経由で無事に広島に帰ってくることができました。

【化学授業の感想】

- ・使ったことのない実験器具の使い方を英語で説明してもらった。専門用語を理解するのは難しかったが、非常に楽しかった。
- ・教員のサポートがとても手厚かった。それにタイの生徒たちは手際がよく、実験をスムーズに進めることができてよかった。実験器具がかなり充実していて、ムクダハン校の化学への熱の入れ方が強いなと思った。
- ・薬品の名前が難しかったが、実験中はジェスチャーを有効活用して会話を進められた



【数学授業の感想】

- ・計算や図形の問題をゴリゴリ解くのかなと思っていたので意外な授業だった。図形について直観的に学べるのがよかった。パディとのコミュニケーションもできた。
- ・紙の家を作るのは一見数学っぽさはないけどどこに何枚使ったらいかなど話し合いながら計算できたので良かった。結果発表の方法がユニークで楽しかった。
- ・制限時間の中で物を作るという課題は、時間が近づくにつれてグループ全体で盛り上がることで、終始よい雰囲気だった。



【物理授業の感想】

- ・映像を元に、種が落ちる様子をグラフに表しました。映像を解析する方法について、抵抗のしくみについて、理解出来たと思います。
- ・物理は未習範囲の授業だったため、パディに質問しながら進めた。現地の先生に質問して、答えを理解できたのが良かった。
- ・学校の身の回りの植物を授業の題材にしていたので、親しみやすさがあった。



【課題研究発表の感想】

- ・数学の研究に使われる言葉を英語で表現するのが難しかったが、図や式を用いることで、自分達の研究と、タイの生徒の研究についてお互いに細かく質問することができたと思う。考え方や捉え方の違いについて詳しくまとめたい。
- ・自分たちの進捗状況をしっかり伝えるとともに、今後どのように交流を進めていくかについて話し合えて良かった。実際、帰国後に実験内容などを教え合っている。
- ・双方全く同じテーマで驚いた。こちらの方が研究が進んでいたが、特に 1 日目の交流は 1 時間と少しでは足りないくらい充実していた。
- ・相手の構想には私たちにないものがあり、とても興味深かった。また、自分たちの研究を英語で発表するという良い経験になった。



第 5 号では、夏休みから 2 学期にかけて行われたさまざまな校外発表について紹介する予定です。